

下 監 第 1 号
平成31年1月16日

下田市長 福 井 祐 輔 様

下田市監査委員 鈴木 貞 雄
下田市監査委員 増 田 清

平成30年度定期監査(学校監査)結果報告書

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

第1 監査の対象

下田小学校、浜崎小学校、朝日小学校、大賀茂小学校

第2 監査の期間

平成30年10月9日から平成30年11月29日まで

第3 監査の範囲

平成30年4月1日から平成30年10月31日までの予算及び事務事業の執行状況

第4 監査の方法

事前審査及び現地調査を行った上で、学校長及び関係職員から予算及び事務事業の執行状況並びに施設の維持管理、防災・安全対策等について説明を聴取した。

第5 監査の結果

予算及び事務事業はおおむね適正に執行されていると認めたが、一部について改善及び検討を促した。監査結果の概要は、次のとおりである。

1 各校の概要

(1) 児童数、学級数

(単位:人、学級)

学校名	区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級	合計
下田小学校	学級数	2	2	1	2	2	2	2	13
	児童数	39	36	34	36	44	40	9	238
浜崎小学校	学級数	1	1	1	1	1	1	-	6
	児童数	22	19	18	19	12	19	-	109
朝日小学校	学級数	1	1	1	1	1	1	-	6
	児童数	14	15	20	24	9	18	-	100
大賀茂小学校	学級数	1	1		1	1	1	-	5
	児童数	5	6	6	8	9	12	-	46

(2) 教職員数

(単位:人)

学校名	職員数	うち、市費職員		摘要
下田小学校	26	5		支援員4、用務員1
浜崎小学校	17	2		支援員1、用務員1
朝日小学校	13	2		支援員1、用務員1
大賀茂小学校	14	2		講師1、用務員1

2 予算の執行状況(平成30年10月末まで)

(単位:円、%)

学校名	小学校管理事業			小学校教育振興事業		
	予算現額	支出済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率
下田小学校	2,740,000	1,001,403	36.5	851,000	361,266	42.5
浜崎小学校	2,351,000	1,959,120	83.3	1,366,000	606,213	44.4
朝日小学校	2,535,000	1,638,382	64.6	762,000	314,639	41.3
大賀茂小学校	1,771,000	1,088,947	61.5	776,000	362,025	46.7

3 備品等管理状況

(1) 郵券の管理

受払簿にて管理されていたが、受払簿と現物の照合をした結果、一致しない学校が見受けられた。使用の都度、残数確認ができるよう受払簿の様式改善を図り、管理責任者による適正な管理を指導した。

(2) 備品の管理

備品は、毎年度定期的に教職員が備品点検簿をもとに点検作業を実施していた。実施に際しては、職員で分担し、統一した備品管理の体制が整えられていたが、寄贈品について台帳管理がされていない学校が見受けられた。

(3) 理科薬品の管理

薬品保管庫の施錠は適正に行われていたが、薬品の使用量や残量の管理簿への記載がされていない学校が見受けられた。

毒物・劇物であることを再認識し、所属長立合いのもと棚卸しを実施し、児童に危険が及ばないよう細心の注意を払われたい。

また、教育委員会は文部科学省の通達に沿って各校と連携し、薬品管理簿の整備、定期棚卸、不要な薬品の廃棄の実施に努められたい。

4 施設の維持管理

(1) 消防設備、遊具、AEDは、定期的な業者による保守、点検がされていた。

また、業者による点検のほか、毎朝、教頭による見回り点検、月ごとに職員による施設等の安全点検を、全校が実施していた。

(2) 施設や敷地内で緊急を要する簡易な修繕については、その都度学校教育課により迅速な対応がとられていた。

しかし、雨漏りやトイレの水漏れ、天井の腐食や外壁のひび等、施設の躯体部分に未修繕箇所が多く見受けられた。事故の未然防止と児童の安全確保等のため、早急に対応を検討されたい。

5 防災・安全対策

- (1) 災害発生時における児童の安全確保の観点から、各校で防災計画を策定し、地震、火災、児童の引渡し等のケースを想定して防災訓練を実施していた。また、日本赤十字社や警察署の協力により、生徒と教職員を対象としたAED講習及び不審者対策講習を実施していた。
- (2) 個人情報保護の管理及び情報セキュリティは適正な管理がされていた。教育委員会よりセキュリティ機能付きUSBを各職員に配付し、校外への持ち出しは管理簿にて所属長による管理がされていた。
- (3) アレルギー管理対応について、学校生活管理指導表により養護教諭を主として個々の児童に対応する管理体制がとられていた。食物アレルギーについては、学校給食において事故のないよう、養護教諭、栄養士、管理職、担任と保護者の連携体制により除去対応が実施されていた。

6 学校徴収金

学校徴収金は公金ではないが、現金を扱うものであること、またその性質上、準公金にあたるとして監査の対象とした。

- (1) 学校徴収金は「下田市立小・中学校徴収金取扱基準」に基づいて処理がなされ、会計簿と通帳を確認した結果、おおむね適正に処理されていた。
- (2) 学年費の会計処理については、賀茂地区で統一システムを導入し、各校の事務の共通化が図られていた。

7 その他要望事項

今年度、トイレの洋式化改修工事及び屋内運動場ガラス飛散防止工事を実施し、今後、全小学校普通教室への空調設備設置工事の実施も予定しており、財源の縮減による限られた予算の中、教育環境整備に努めているところではあるが、老朽化した施設の整備及び電子黒板の増設等のICT化の推進等、児童が危険や不便のないよう必要に応じた措置を講じられたい。

地域や団体等からの寄贈品、寄附金は、「下田市寄附採納事務取扱規定」に基づいた事務手続きをし、寄附物品等の適正な管理を徹底されたい。